

現地連絡調整会議 次第

資料7-2

1 応援部隊活動の基本調整

- (1) 当面の活動計画(要領)について
- (2) 県としての警察・消防・自衛隊(米軍)海保への活動要請の考え方
- (3) 当面の活動要請について

3 富士山静岡空港の活用調整

- (1) 基幹的広域防災拠点
- (2) 拠点の活用について

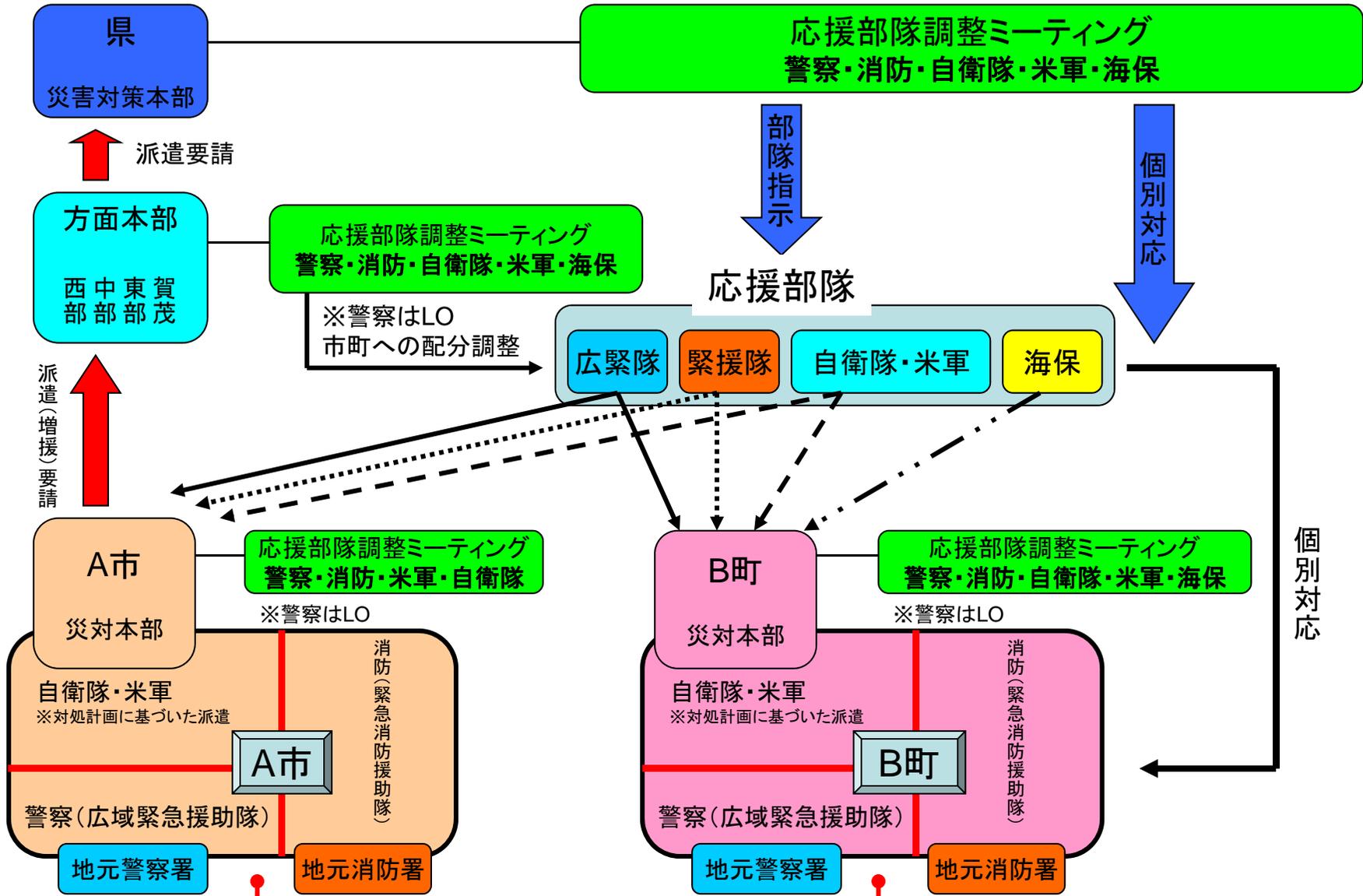
2 人命救助活動調整

- (1) 現在判明している人命救助の重点
- (2) 医療救護関連の要請
- (3) 県・市町による米軍への情報提供と部隊誘導

4 浜岡原発対処調整

- (1) 現状説明
- (2) 自衛隊及び米軍に対する要請

関係防災機関(警察・消防・自衛隊・米軍・海保)への活動要請
【活動分担要領】



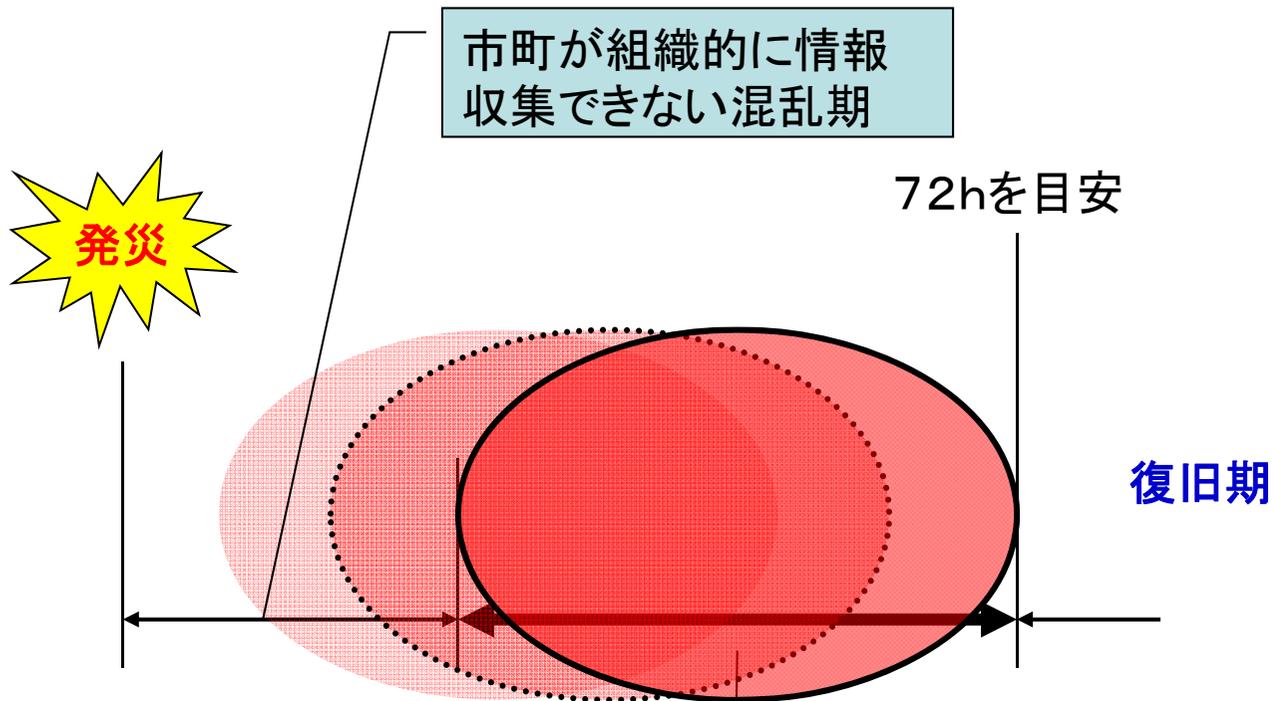
※警察はLO
市町への配分調整

※警察はLO

※警察はLO

地域分担が基本 2

個別対応



市町が組織的、継続的に
情報等が入手できる時期

※努めて早期に本要領で活動分担要領に基づき要請する。

- ①活動空白地域の防止
- ②市町内では地域分担を基本
ただし警察(交通規制・検視)、消
防(消火活動)、自衛隊(機械力)等
専門分野では担当区域外活動あり
- ③県、方面、市町本部に**応援部隊調
整ミーティング**を置き、相互調整
- ④方面、市町内で対応できない場合、
県に要請



医療救護関連の要請

a 県内医療救護体制の強化要請

(a)海自・海保の医療設備のある艦艇派遣

(b)米海軍等の病院船の派遣

b 負傷者航空搬送の強化要請

- 米軍を含む部隊による患者搬送

c 県外への搬送と米軍基地での救護要請

静岡空港における基幹的広域防災拠点



原子力災害支援センター(仮称)

- 災害対応人員宿泊施設
宿泊施設(200名程度)、シャワールーム
- 資機材管理施設
災害対応資機材の集結・保管倉庫
- 原子力災害連絡室
県庁本部、浜岡原子力発電所等の連絡調整室

3F		要員宿泊フロア		④ 管理・ボランティアセンター(仮称)	
2F		現地本部フロア		ボランティア宿泊フロア	
1F		管理フロア	救護所フロア	国内外ボランティアセンター	

管理棟

- 要員宿泊フロア
宿泊施設(40名程度)、シャワールーム
- 現地本部フロア
現地本部、執務室、会議室、情報収集機能
- 管理フロア
広報用スペース、会議室、SCU、自家発電装置等
- 救護所フロア
拠点内医務室

ボランティアセンター棟

- ボランティア宿泊フロア
宿泊施設(40名程度)、シャワールーム
- 国内外ボランティアセンター
広報スペース、会議室、執務室

浜岡原子力発電所

